

2012年9月18日

筆答試験(英語)

保存科学分野専攻受験生用

1. 次の英文を和訳せよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[H. J. Plenderleith and A. E. A. Werner: The conservation of antiquities and works of art p50 Oxford Univ. Press (1972)]

2. 次の英文を和訳せよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[Pourbaix, M.: Lectures on Electrochemical Corrosion, p.67 Prentice Hall (1973)]

筆答試験(保存科学に関する基礎的知識)

保存科学分野専攻受験生用

I. 次の1から6の各項目につき、各1題を選び簡単に説明せよ。

1. (a) イオン化傾向 (b) (物理)電池 (c) 窒素酸化物
(d) 遷移金属 (e) 配位結合 (f) ハロゲン元素
2. (a) 界面活性剤 (b) 共役系 (c) キサントプロテイン反応
(d) アルケン (e) 付加反応 (f) ショ糖
3. (a) 理想気体 (b) pH (c) 核力
(d) ゼルとゲル (e) 溶解度積 (f) 電気陰性度
4. (a) 磁性材料 (b) 平衡状態図 (c) 硬度
(d) 粘弾性 (e) 焼なまし (f) 金属結合
5. (a) 蛍光X線分析法 (b) 中性子線回折 (c) ラマン分光分析法
(d) 沈殿滴定法 (e) イオンクロマトグラフィー
6. (a) オーロラ (b) 液晶 (c) 地熱発電
(d) 免震装置 (e) 実験計画法 (f) リチウムイオン電池

II. 次の問題より2題選択し、解答せよ。

- (a) SI単位について述べよ。
- (b) 放射性同位元素について述べよ。
- (c) 環境分析法について述べよ。
- (d) 天然高分子化合物について述べよ。
- (e) 熱分析法について述べよ。
- (f) 材料の機械的特性について述べよ。
- (g) ガラスの構造と分析法について述べよ。
- (h) 有機化合物における官能基について述べよ。
- (i) 不斉合成法について述べよ。
- (g) 触媒について述べよ。
- (j)

2012年9月18日

小論文

保存科学分野専攻受験生用

次の3題についてそれぞれ小論文にまとめよ。

1. 文化財保存に対する自然科学の寄与について。
2. 本大学院でどのような勉強をしたいか。
3. 将来どのような仕事に携わりたいか。

筆答試験(専攻内容に関する)

保存科学分野専攻受験生用

I. 次の課題より、1題を選択し解答せよ。

1. 油彩画に用いられる顔料とその保存性
2. 日本画に用いられた顔料の種類と特徴
3. フレスコ画に用いる顔料と顔料が兼ね備えるべき特性
4. 文化財の地震災害からの保護
5. 漆の乾燥の原理と漆膜の科学分析法
6. 多重干渉と薄膜の色
7. 和紙の劣化機構
8. 紙製造法の歴史
9. パピルスと和紙の類似点と相違点
10. 博物館・美術館におけるIPMとその効果
11. 劣化予測法
12. オゾン層破壊と文化財
13. 金属文化財の保存と修復
14. 銅の腐食と防食

II. 各自の卒業論文あるいは修士論文について簡潔にまとめよ。

(無い場合は、これに準ずるゼミでの発表、作品制作についてまとめよ。)

(解答には 卒業(修士)論文、ゼミでの発表、作品制作 の種別も記すこと)

2013年2月10日

語学能力審査（英語）

博士後期課程・保存科学研究領域

1. 次の英文を和訳せよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

出典: John Winter : EAST ASIAN PAINTINGS p152 Archetype Publications Ltd. (2008).

2. 次の英文を和訳せよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

出典: Pourbaix, M.: Lectures on Electrochemical
Corrosion, p.292 Prenum Press (1973)

2013年2月10日

専門に関する筆答試験

博士後期課程・保存科学研究領域

○解答はすべて日本語とする。

問題1 文化財の経時劣化とその抑制対策について具体例をあげて述べよ。

問題2 次の課題より1題を選択し解答せよ

- (A) 顔料の劣化の自然科学的研究方法
- (B) 銅の腐食とその美術工芸への応用
- (C) 文化財保存における自然科学的分析の果たす役割

以上